



首都圏に在住する置戸町出身の方々などで組織された「ふるさと置戸会」(石井敏明会長)の2018・平成30年の集いが1月27日、東京都内の主婦会館プラザエフで開催され、総勢82人が参加しました。同会は、全日本綱引選手権大会に出場した「置戸人間ばん馬」チームの応援に駆けつけた置戸町出身者によって、同郷人の親睦とふるさとの応援を目的に昭和59年11月に結成されています。



「N43.46ふるさと協力会」(宮井國夫代表)から、ふるさと事業の報告と合わせて、町に対して4万円の寄附がありました。



▶ 宮井國夫代表(中央)と石井敏明会長

加入の呼びかけを

ご家族や友人などで首都圏に転出された方に、ぜひ加入を呼びかけてください。

【詳細】 ふるさと運動推進協議会事務局
(町民生活課広報広聴係 ☎52-3315)

町からは井上町長、佐藤議長のほか、町観光協会の西島会長、JAきたみらいの有馬理事、佐藤勇治氏、澁谷恒壹氏、松崎真也OGF実行委員長、大矢智行OGF副実行委員長が参加しました。

井上町長はおけと勝山温泉ゆうゆのリニューアルオープンやOGF開催、2020年東京オリンピックに置戸産木材の提供など町の現況を報告し、続く祝宴は、佐藤議長の乾杯の音頭でスタート。各円卓で、お互いの近況やふるさと談義に花を咲かせ、旧交を温めました。会場ではエンジェルハープの演奏、榎並和昭事務局長補佐の司会で福引抽選会などが行われ、会場を盛り上げました。最後にエンジェルハープの伴奏の下、全員で「故郷」を歌い、祝宴を締めくくりました。

◀ 同郷の仲間と笑顔で記念撮影

今夏のOGF開催、熱くPR

松崎真也OGF実行委員長らが、今年の夏に置戸で開催されるOGFを熱くPR。「みなさんに協力していただき、ふるさと置戸を盛り上げていきたい」とメッセージを伝えると、会場からは拍手が送られました。



松崎真也実行委員長(右)、大矢智行副実行委員長